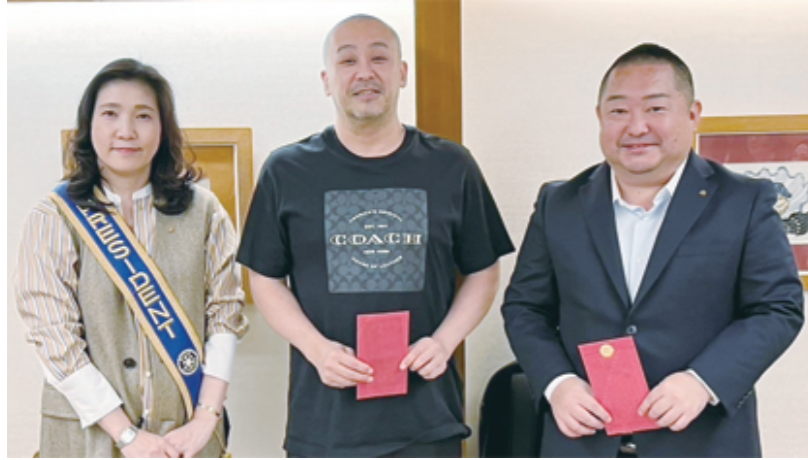


●入会記念祝



請川かおり会長、請川秀治会員、境亮一会員

●結婚記念祝



請川かおり会長、佐藤達視会員

SAA 高柳雅章委員長



出席委員 阿部勇二郎委員



ニコニコ委員 境亮一委員



出席報告

本日分	10月31日
会員数	94名
会場参加	40名
Make-Up	22名
出席率	72.09%

幹事報告 大竹純幹事

幹事報告をご覧ください。
●11月17日はレイボックホールにて地区大会で11:00集合です。14日の振替になります。
●11月7日に14:00から増幸にて茶道同好会があります。
●11月2日9:30より大宮ソニック4F市民ホールにてRLI①があります。

例会予定

◎12月5日 **定例会**
場 所/メディアセブン
開 会/12:30～
卓話:川口市障がい福祉課
小林 三紗様

◎12月12日 **定例会**
場 所/メディアセブン
開 会/12:30～

Rotary

国際ロータリー第2770地区
第11グループ



2024-2025 KAWAGUCHI ROTARY CLUB

WeeklyReport

●第3119回 夜間例会

No.12

2024年11月28日配布

2024-2025 年度
会長:請川 かおり
幹事:大竹 純



会長挨拶

会長 請川 かおり

会長挨拶をさせていただきます。

本日は、クラブ内研修第2回目、「DEI+B」について、皆さんで考えていきたいと思います。「+B」は今年度から始まった新しい考え方で、Belonging、所属、を意味します。帰属意識や、自分の居場所がここにあるという状態、を示す言葉です。

コロナ禍が終わってよく言われるようになったのが、会社や学校など、組織内でのコミュニケーションが希薄になり、退職者や大学を中退する学生が増えた、という事です。働く意味を失ったり、修学意欲が低下したりしたことも原因のようです。つまり、Belongingがなかったことによる弊害と言えるでしょう。

我々川口クラブも、コロナ禍の折には、緊急事態宣言の間は休会にもなりましたし、納涼会や観桜会といった親睦の機会も失いました。食事をしながらの例会、のハードルが高く、お弁当を持って帰っていただくようなこともありました。苦境の中、川口クラブはコロナ禍におけるたった一つの贈り物であるZOOMをうまく使って、コロナ期間の会長幹事さんたちの努力により、クラブを存続させてくださっています。しかしながら、コロナ前とコロナ後での例会の在り方に、多少の違いがあることは否めません。コロナ前より例会の出席率が下がっていることも事実です。

ですので、今年度は、親睦の種を蒔く季節だと思って、夜間例会を多く開催しています。今日などは、Belongingについて学び、その後の懇親会でBelongingについて実感できる例会だと思っております。

どうか、ロータリーを知り、ロータリーを楽しむ夜にしてください。

以上です。